

Early Music デュオの世界 全4回公演

歌・踊り・楽器で綴る400年の心象

EARLY MUSIC DUO FESTIVAL

IN AZUMINO 2015



第1回 4月5日(日) 15:00
[メゾソプラノ] [ピアノ]
波多野 睦美 + 鈴木 優人
SPRING ~ 春の歌コレクション

第2回 5月10日(日) 15:00
[バロック・ダンス] [バロック・ギター&リュート]
市瀬 陽子 + 竹内 太郎
優雅な調べ ~ A.ヴェートー《雅宴画》の世界



第3回 7月5日(日) 15:00
[コルネット&リコーダー] [ルネサンス・ハーブ]
濱田 芳通 + 西山 まりえ
笛の楽園

第4回 11月7日(土) 15:00
[ヴィオラ・ダ・ガンバ] [チェンバロ]
品川 聖 + 曾根 麻矢子
秋のソナタ ~ J.S.バッハ
(品川 聖 J.S.BACH シリーズの一環 第10回記念)

100席で味わう至福のひとときを！
日本の原風景・安曇野の彩り

1回券

一般 4,000円 | 会員 3,600円
当日券 各500円増

4公演セット券

14,000円
全席自由

お問合せ・予約・チケット取扱い
アントレ編集部

Tel 042-378-7603 info@em-entree.jp
http://www.em-entree.jp/

あづみ野コンサートホール
まつもとバッハの会事務局 (福澤) Tel 0263-88-7874
http://www.ach.ne.jp/

EARLY MUSIC DUO FESTIVAL IN AZUMINO 2015

PROFILE

第1回

SPRING

～春の歌コレクション

【曲目】

■パーセル：ひとときの音楽

■モーツァルト：

すみれ、クローエに

■シューベルト：

春の信仰、秘密、夕星

■山田耕筰：からたちの花

■別宮貞雄：さくら横ちょう

■中田章：早春賦 他

波多野 睦美 *Mutsumi Hatano* | メゾソプラノ

ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。1990年にイギリスのリュートソングでデビュー。バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」等、宗教作品のソリストとしても国内外で多くのコンサート、音楽祭に出演。現代音楽では間宮芳生作品の米国での世界初演、サイトウ・キネン・フェスティバル松本「武満徹メモリアル・コンサート」、水戸芸術館「高橋悠治の肖像」、サントリーホール「作曲家の個展2013 権代敦彦」等に出演。モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」のオクターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」のダイドー等、卓越した表現力と存在感でオペラでも注目される。「NHKニューイヤーオペラコンサート」、「BSクラシック倶楽部」他に出演。CD多数。

鈴木 優人 *Masato Suzuki* | ピアノ

鍵盤奏者および指揮者としてバッハ・コレギウム・ジャパンや横浜シンフォニエッタ(首席指揮者)、アンサンブル・ジェネシス(音楽監督)はじめ、国内外の公演に多数出演。その演奏は「火花が散るほど熱くて説得力のある演奏」(独フォノ・フォーラム誌)と評され、チェンバロソロCD『rencontre』は各紙で絶賛される。新国立劇場「ポッペアの戴冠」演出、調布音楽祭総合プロデューサーを務める等、その活動に垣根はない。またJ.S.バッハ「BWV190」喪失楽章の復元や、モーツァルト「レクイエム」の補筆・校訂が高い評価を得る。オランダ生まれ。東京芸術大学作曲科および同大学院古楽科、ハーグ王立音楽院オルガン科および即興演奏科修了。

第2回

優雅な調べ

～A.ヴェーダー《雅宴画》の世界

【曲目】

■フォリアによる

即興演奏とダンス

■ヘンデルのメヌエット

■リュリ：

「ガラテ」より、シャコンヌ

他

市瀬 陽子 *Yoko Ichise* | バロック・ダンス

立教大学、東京芸術大学卒業。15～19世紀の西欧舞踊史を研究、「優雅な宴」(1992/93)、「ひとときの夢」(1995-99)、「テルシニコレ」(2000-09)、「ラ・ヴェルサイエズ!」(2012)等をはじめとする舞台を制作。バッハ・コレギウム・ジャパンとの共演、古楽器・和楽器による現代音楽プロジェクト「アンサンブル室町」(代表L.テシュネ)、サントリーホールのオルガンコンサート(2012)における振付等、活動の幅を広げている。執筆活動も積極的に展開、近著に『バレエとダンスの歴史』(鈴木晶編著、平凡社、2012)がある。聖徳大学准教授、東京芸術大学講師、昭和音楽大学講師、昭和音楽大学バレエ研究所研究員、東京二期会オペラ研修所講師。

竹内 太郎 *Taro Takeuchi* | バロック・ギター & リュート

京都生まれ。立教大学卒業後、ロンドンのギルドホール音楽院でナイジェル・ノースに師事。文化庁派遣芸術家としてバッハのリュート作品とバロック時代のギター音楽を研究。ベルリン・フィル、啓蒙時代オーケストラ、ナイジェル・ケネディ、レイチェル・ポッジャー等と共演の他、ソロ活動も活発に行っている。CDには『フォリアス!』、『アフエットーソ』、『ギターの世紀』等があり、「古楽器のコレクレーン」、「高貴な演奏」等と評された。英国リュート協会前理事、日本リュート & アーリーギター・ソサエティディレクター。ロンドン在住。公式ウェブサイト <http://www.cranegr.jp/~tarolute/>

第3回

笛の楽園

【曲目】

■ファン・エイク：

涙のパヴァーヌ、

美しき娘ダフネ、

アマリッリ麗し

■アテニヤン編：

花咲く年頃にある限り

■フランス古謡：ある若き娘

他

濱田 芳通 *Yoshimichi Hamada* | コルネット & リコーダー

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学(現東京音楽大学)の創立者を曾祖父にもち、音楽一家の4代目として東京に生まれる。桐朋学園大学古楽器科卒業後、スイス政府給費留学生としてパーゼル・スコラ・カントールムに留学。コンチェルト・パラティーノ、ラ・フェニーチェ等のメンバーとしてヨーロッパ各地で活躍。また、アニメ「耳をすませば」の音楽、大河ドラマ「信長」、「秀吉」に出演する等、知られざるバロック以前の音楽を広めるべく活動している。古楽アンサンブル「アントネッロ」(第7回ホテルオークラ音楽賞受賞)主宰。

西山 まりえ *Marie Nishiyama* | ルネサンス・ハープ

チェンバロとヒストリカル・ハープ、2種の古楽器を操る希有なプレーヤーとして国際的に数多くのコンサートや録音に参加。これまでにリリースした多くのCDが新聞雑誌等で特選盤・推薦盤に選出。欧州で発売されている『ファンタシアの奏法～イベリア半島の鍵盤音楽』は「リトゥモ」誌(スペイン)の最優秀推薦盤に選ばれ、本国からも絶賛される。第11回古楽コンクール(山梨)チェンバロ部門第1位、栃木「蔵の街」音楽祭受賞。レコード芸術「読者が選ぶビートル2007」、HMV「2008年度期待のアーティスト5名」に選出。2012年よりスタートした「信州アーリーミュージック村」芸術監督。公式ウェブサイト <http://www.marienishiyama.com/>

第4回

秋のソナタ～J.S.バッハ

【曲目】

■J.S.バッハ：

ヴィオラ・ダ・ガンバと

チェンバロのための

ソナタ全3曲

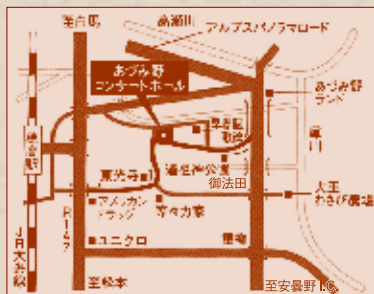
他

品川 聖 *Hijiri Shinagawa* | ヴィオラ・ダ・ガンバ

桐朋学園大学古楽器科を1999年卒業後、同年ブリュッセル王立音楽院に留学。2003年ディプロマを取得し首席で卒業。ヴィーラント・クイケン氏ほかに師事。留学中の2001年、安曇野でのソロ・デビュー以来、各地でコンサート活動を展開。主としてヴィオラ・ダ・ガンバのソリストとして活躍。2006年より「J.S.バッハ：ガンバ・ソナタ全曲」のコンサートを毎年開催している。北アルプスの山小屋でもソロ・コンサートを継続。フィールドを歩く演奏家としても注目を集めている。これまでに3枚のソロCDをリリース。東京古典楽器センター講師、日本ベルギー学会会員。公式ウェブサイト <http://hijiri-s.com/>

曾根 麻矢子 *Mayako Sone* | チェンバロ

実力、人気ともに日本を代表するチェンバロ奏者。1986年ブルージュ国際古楽コンクールに入賞後、故スコット・ロスに指導を受ける。1991年には、エラート・レーベル初の日本人演奏家としてCDデビュー。以後イスラエル室内オーケストラの専属チェンバロ奏者、各地の音楽祭に参加、現代舞踊家との共演等、国際的に活躍。国内でもリサイタル、室内楽と広く活動。2003年より全12回、6年にわたるJ.S.バッハ連続演奏会、2010年より全12回、4年にわたるクーブランとラモーのチェンバロ作品の全曲演奏会を行い好評を博した。これまでに14枚のソロCDをリリース。出光音楽賞、飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。現在、上野学園大学教授。2011年よりスタートした「チェンバロ・フェスティバル in 東京」芸術監督。



〈交通案内〉

あづみ野コンサートホール

〒399-8303 安曇野市穂高 3987-8

●JR 大糸線・穂高駅より車で5分

●長野自動車道・安曇野I.C.より車で7分